

家計・くらしの調査
年次報告書
2021

2022年10月

日本生活協同組合連合会
政策企画室

もくじ

- | | | |
|----|---------------------|-----|
| 1. | はじめに | P2 |
| 2. | 2021年の登録モニター属性 | P3 |
| 3. | 収入・支出 | P4 |
| 4. | 電気・ガスの使用量と料金 | P9 |
| 5. | 消費税調べ | P11 |
| 6. | 2021年に寄せられた特徴的なコメント | P13 |
| 7. | その他 モニターさんから届いた声 | P17 |
| 8. | 調査票 | P19 |

はじめに

この調査は1978年「生協の家計簿」発行以来継続してきた「全国生計費調査」の流れを汲みつつ、2018年1月よりインターネットでの回答に限定して調査を実施しています。2021年は調査をインターネット化して4年目となります。

2021年の調査では1,000名を超える組合員にモニター登録いただきました。うち新規で登録いただいた方は87名でした。登録モニターには毎月1回、前月分の収入や支出を費目ごとにWebページに入力し、データを日本生協連へ直接送信いただいております。ご参加いただいたモニターの皆さま、及びモニター募集の広報活動いただいた会員生協の皆さまに心より感謝申し上げます。

2022年も引き続きウィズコロナでの生活を余儀なくされており、収束の見通しが立っていません。またロシア・ウクライナ情勢によるエネルギーや物価の高騰により、私たちの暮らしを取り巻く環境はますます厳しくなっています。引き続き、この「家計・くらしの調査」を通じて皆さまと共にくらしの変化を捉え、社会に発信してまいります。今後とも一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【本調査の概要】

1.集計対象

2021年1月から12月まで連続回答いただいた方のデータ 有効回答 724名分（※）

※ただし、昨年と比較しているものは、724名のうち574名分（昨年からの継続者）を対象としています。

2.2021年の特徴

新型コロナウイルス感染症と対峙する暮らしが2年目となりました。組合員の生活・生協事業に対して継続的な影響を及ぼしています。そのような中で、以下の特徴が本調査から見出されました。

(1)収入

2020年から継続回答いただいているモニター世帯の収入（月平均）は626,991円で、昨年より8,912円減少しました。年代別で見ると増減があり、60代では増加している一方、それ以外の年代ではいずれも減少していました。特に30代以下の減少が顕著でした。

(2)支出

連続回答者の全体で見るとコロナ前の2019年に比べて2021年の支出（月平均）が26,368円減少しています。支出費目別では、いずれの年代も「食費」と「保険医療費」が増えており、「外食費」と「水・光熱費」と「その他の消費支出」が減っている点が共通しています。一方、20～50代では「住居費」「通信費」「教育費」、は減っていますが、逆に60～70代では増えています。

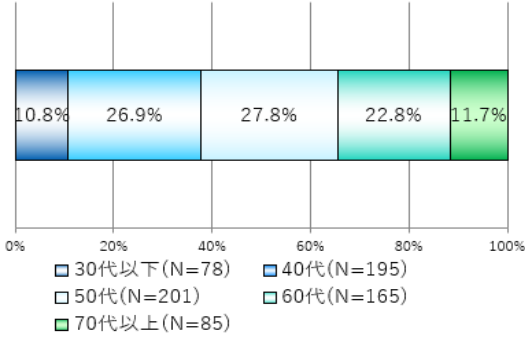
(3)登録モニターの声

モニターからのコメントが年間2,784件寄せられました(P13～18参照)。

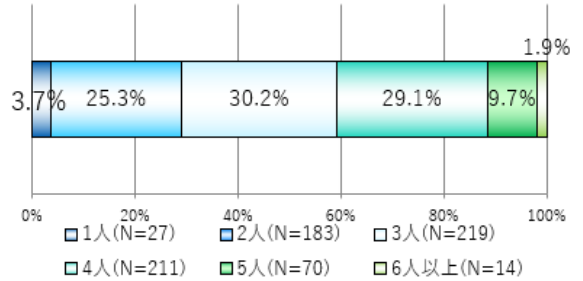
1. 2021年の登録モニター属性

全国から20～80代まで幅広い層にご参加頂いています(図1・7)。世帯構成は3人家族が30.2%と最も多く、4人、2人家族と続きました(図2)。世帯の主な収入は8割近くが「給与」からとなっています(図4)。住居形態は持家の割合が多く、戸建と集合住宅を合わせると約83%でした(図5)。利用業態は宅配利用が約5割、宅配・店舗の併用が約3割、店舗利用が約2割でした。(図6) ※N=724(図1～7共通)

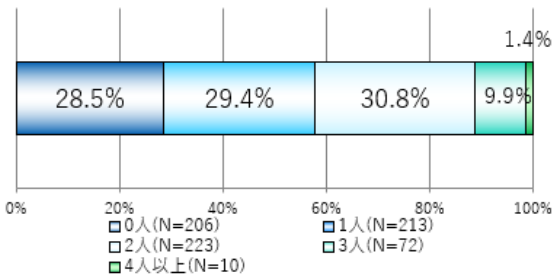
【図1】世帯主の年代



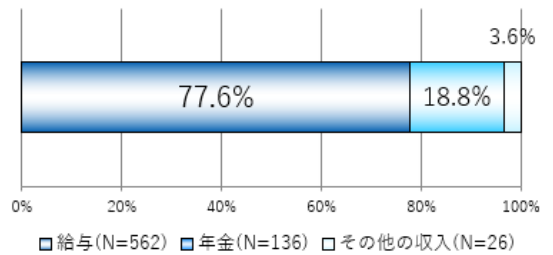
【図2】世帯構成人数



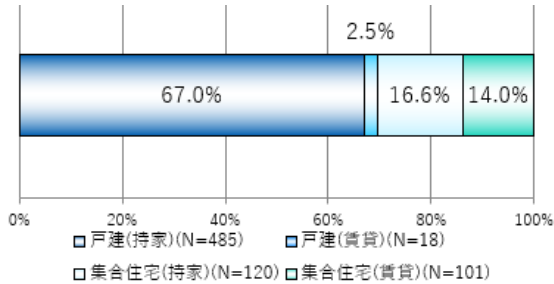
【図3】生計を共にする子どもの人数



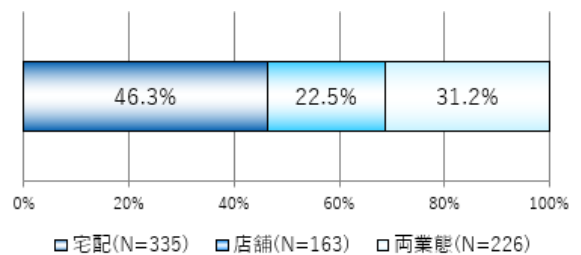
【図4】世帯の主な収入



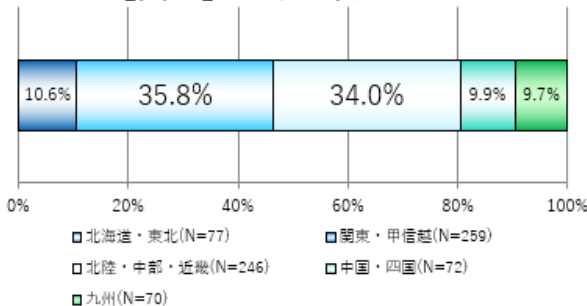
【図5】住居形態



【図6】利用業態



【図7】地域別状況



【表1】都道府県別エリア一覧

北海道・東北	北海道・青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県
関東・甲信越	茨城県・群馬県・栃木県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・山梨県
北陸・中部・近畿	富山県・石川県・福井県・愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県・大阪府・兵庫県
中国・四国	岡山県・広島県・鳥取県・島根県・山口県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県
九州	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

2. 収入・支出

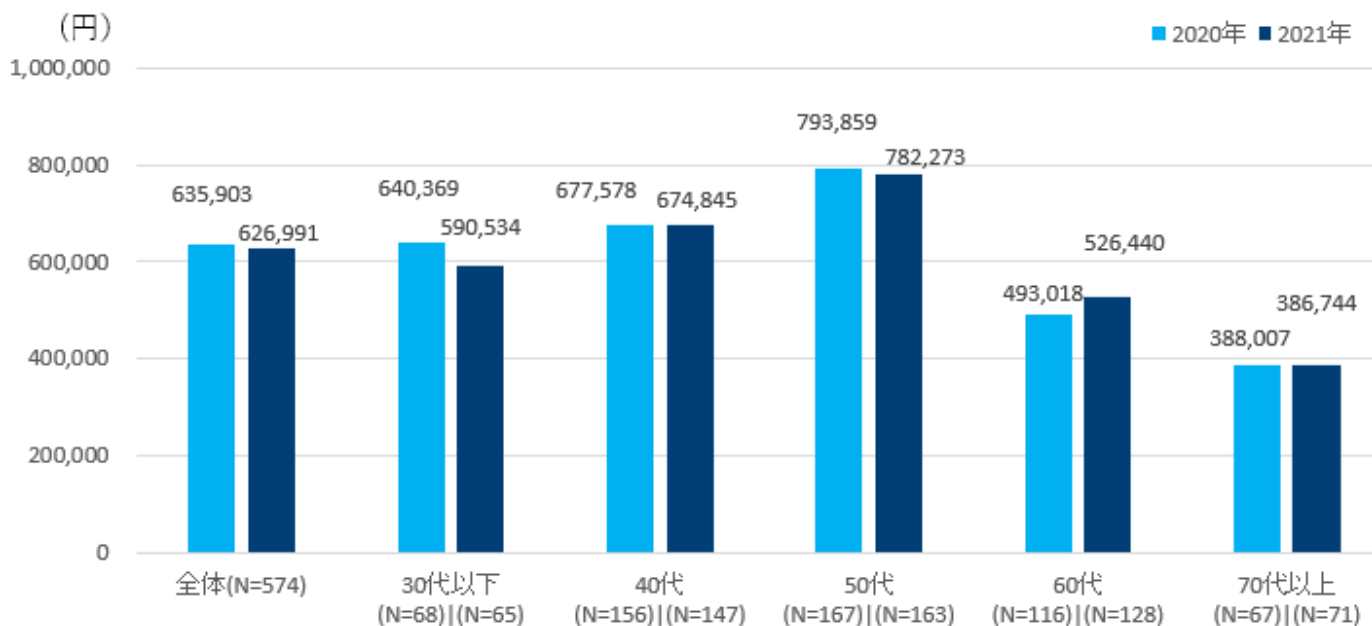
①収入

2020年からの継続モニター(574件)の2021年の収入を2020年と比較しました(図8)。収入月平均は626,991円で、昨年より8,912円低い結果となりました。

年代別に見ると、60代で33,422円増加している一方で、その他の年代ではいずれも減少しています。30代以下では49,835円、40代では2,733円、50代では11,586円、70代では1,263円、それぞれ減少しています。

※収入月平均は、年収を12ヵ月で割った金額です。

【図8】年代別 収入(月平均)



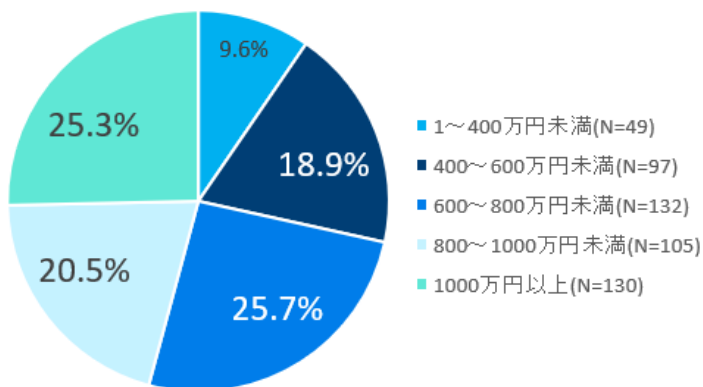
【表2】主な収入別 収入(月平均)

実収入の月平均金額(円)		計	給料(夫)	給料(妻)	賞与(夫)	賞与(妻)	年金(夫)	年金(妻)	その他
全体(N=574)	2020年	635,903	322,480	81,123	82,388	10,754	44,381	18,350	76,426
	2021年	626,991	320,600	83,203	78,475	11,766	47,988	20,479	64,481
給与世帯(N=440)	2020年	689,120	405,392	99,467	104,744	13,754	9,423	2,768	53,573
	2021年	695,478	405,654	100,739	101,708	13,763	12,775	4,819	56,020
年金世帯(N=112)	2020年	347,338	15,626	11,636	314	210	184,906	78,621	56,025
	2021年	377,007	23,510	15,797	1,918	4,747	184,323	82,360	64,352
その他世帯(N=22)	2020年	1,080,745	143,320	51,254	30,036	853	51,812	36,128	767,343
	2021年	525,267	122,987	75,267	0	7,337	58,654	18,581	242,441

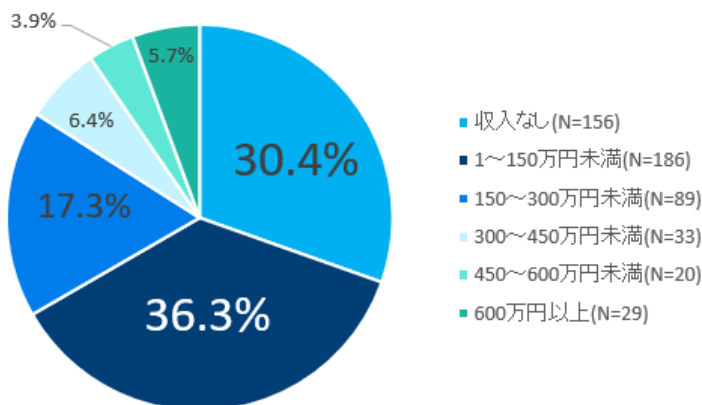
※主な収入が給料の世帯は「給与世帯」、主な収入が年金の世帯は「年金世帯」、主な収入が給料・年金以外の世帯は「その他世帯」に区分しています。

給与世帯の年収の割合は、600～800万円未満世帯が25.7%と最も多く、次に1000万円以上、800～1000万円世帯、と続きます（図9）。給与世帯の妻の年収の割合は、収入なしが30.4%、150万円未満が36.3%、150万円以上が33.3%となっています（図10）。世帯収入の担い手構成を見るために、妻の所得階層別に夫の年収の平均額を見ました（図11）。なお、モニターの全世帯年収は平均額751万円、中央値687万円です。

【図9】 給与世帯 世帯年収の割合



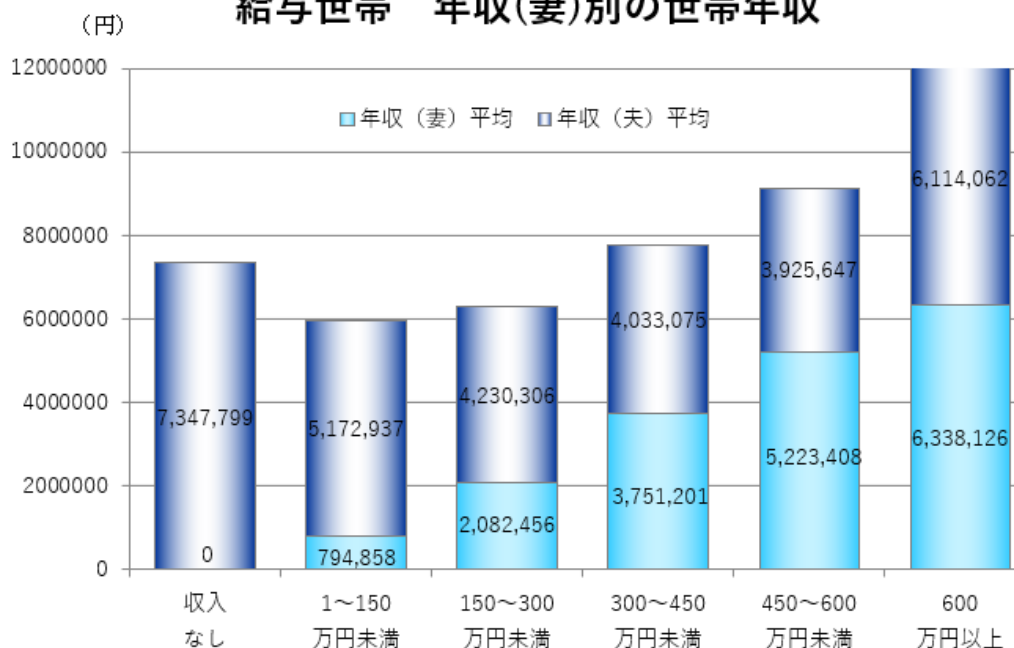
【図10】 妻の年収の割合



【情報メモ】「2019年国民生活基礎調査(厚生労働省)」では、2018年1年間の平均所得は「高齢者世帯以外の世帯」が659.3万円、「児童のいる世帯」が745.9万円、「高齢者世帯」が312.6万円となっています。世帯主の年齢階級別1世帯当たり平均所得金額は、「29歳以下」362.6万円、「30～39歳」614.8万円、「40～49歳」694.8万円、「50～59歳」756.0万円、「60～69歳」566.0万円(65歳以上は425.4万円)、「70歳以上」394.6万円となっています。

【図11】

給与世帯 年収(妻)別の世帯年収

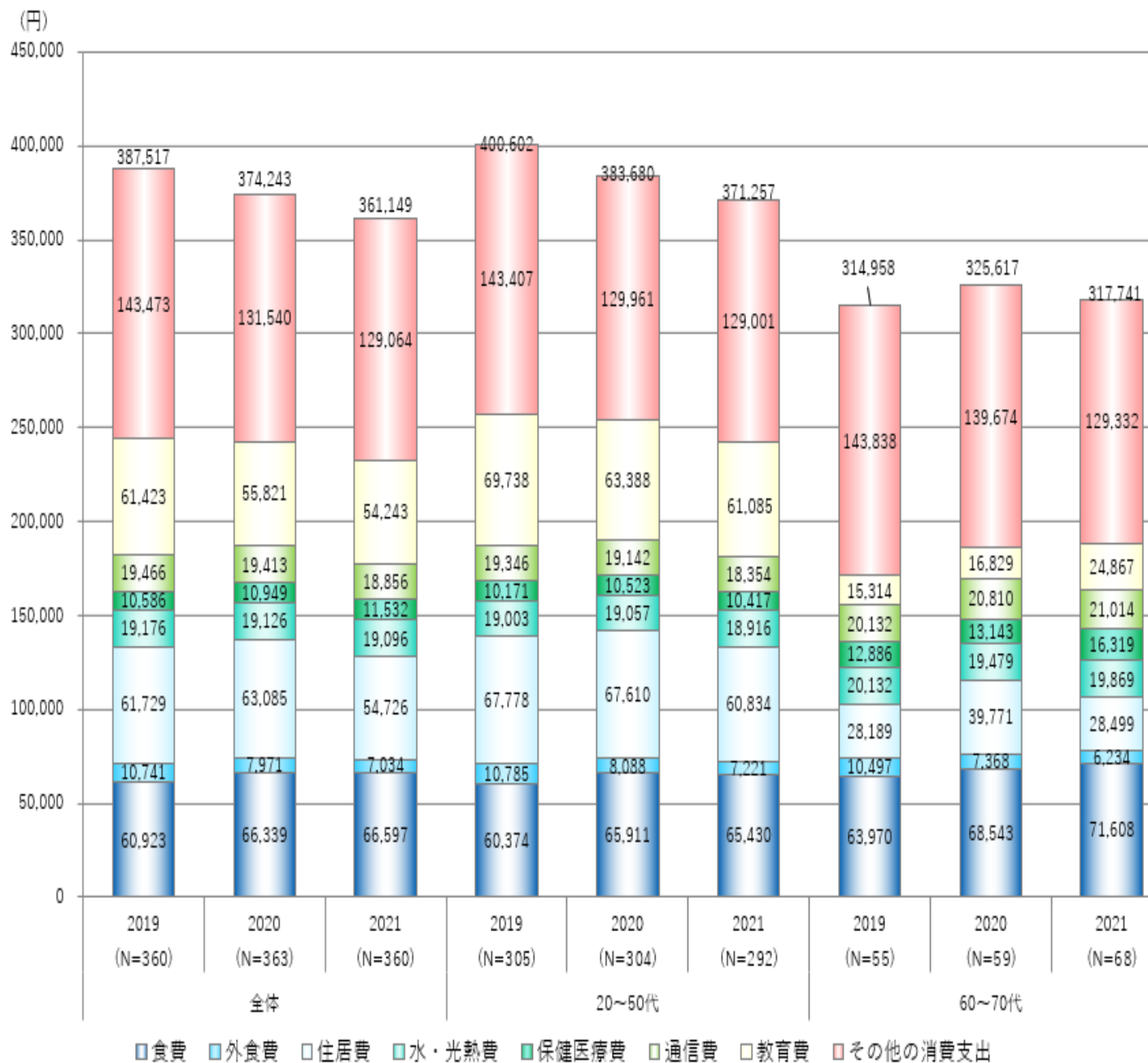


②支出

2019年からの継続モニターかつ給与世帯のみを対象とし、消費支出の月平均を比較しました。働き盛りの年代（20～50代）と、それ以上の年代（60～70代）、に区分して合算しています（図12）。全体ではコロナ前の2019年に比べて2021年の支出額が26,368円減少しています。支出費目別では、いずれの年代も「食費」と「保険医療費」が増えており、「外食費」と「水・光熱費」と「その他の消費支出」が減っている点が共通しています。一方、20～50代では「住居費」「通信費」「教育費」が減っていますが、逆に60～70代では増えています。

※合計値に与える影響が大きいため単年で住居費が1千万円以上の世帯は除いています。そのため、3年間継続しているモニターでも年によって世帯数が異なります。

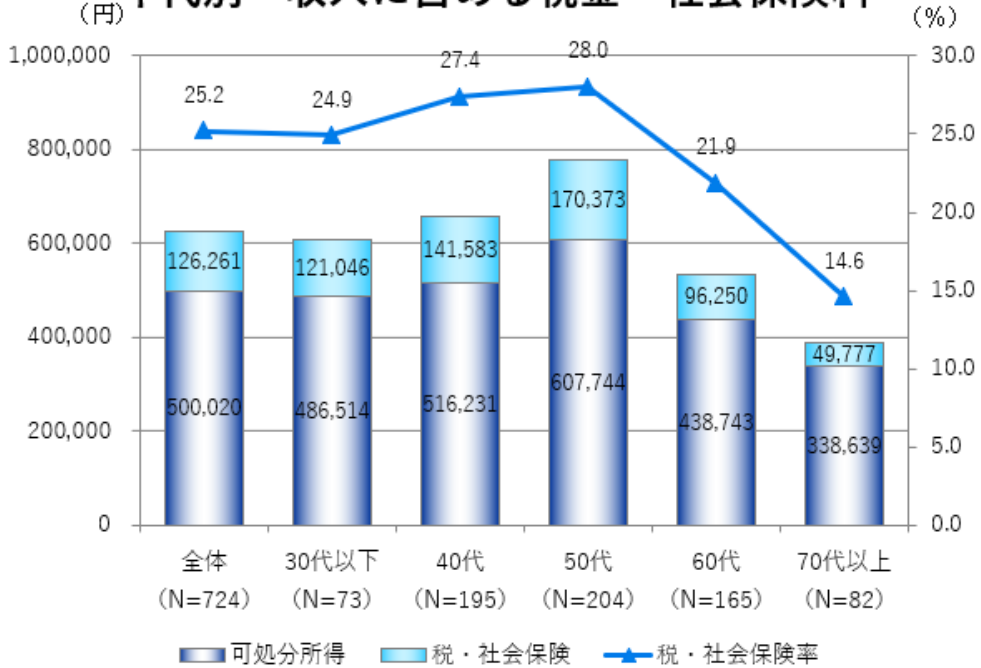
【図12】年代階層別 消費支出（給与世帯のみ）



年代別に収入に占める税金と社会保険料（月平均）を比較しました（図13）。金額・率共に50代が最も高く、一方で最も低い70代以上については50代の約半分です。

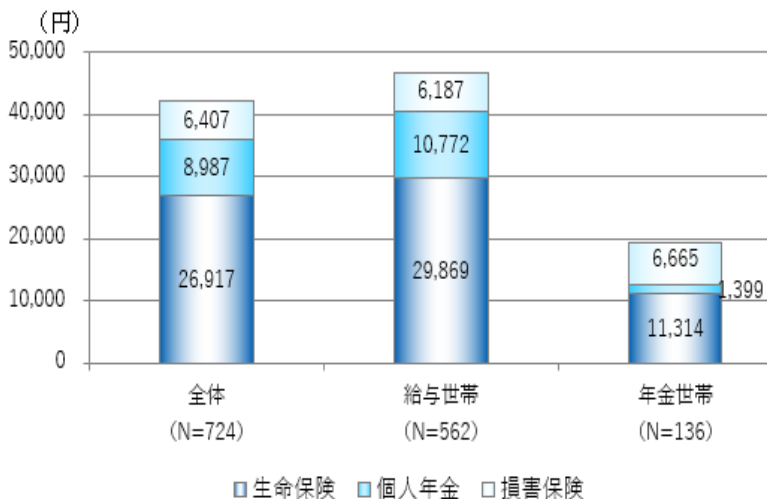
私的保険料は、給与世帯と年金世帯で生命保険額の差が2倍以上ありますが、損害保険はほぼ同額となっています（図14）。

【図13】年代別 収入に占める税金・社会保険料



【情報メモ】生命保険文化センターの「2021年度生命保険に関する全国実態調査」では、生命保険（個人年金保険を含む）の世帯年間払込保険料は、平均37.1万円となっています。モニター調査では全体で40.6万円、給与世帯で45.0万円となっています。

【図14】主な収入別 私的保険料 (月平均)



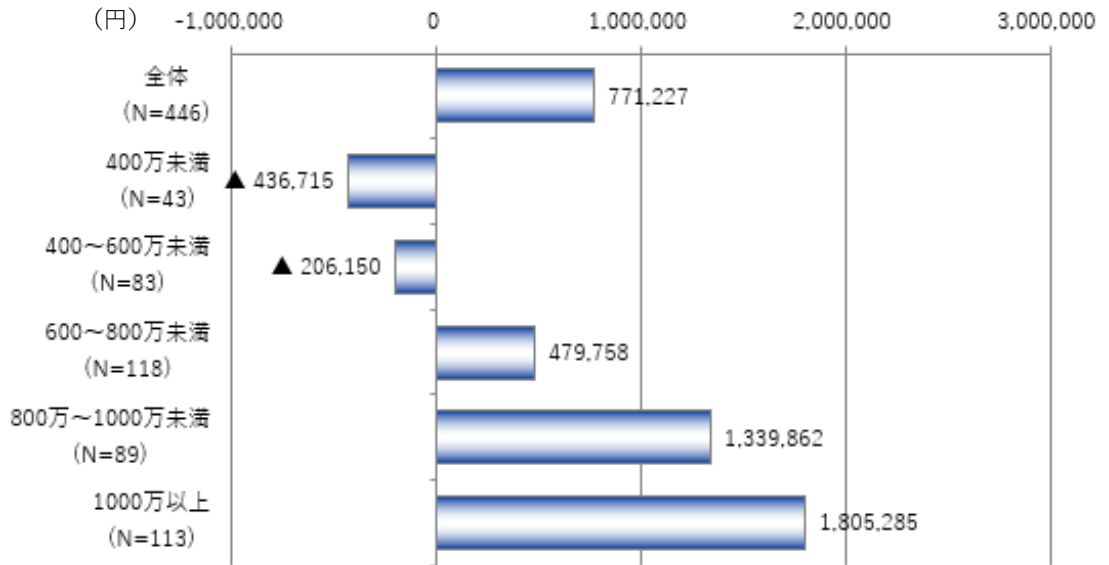
【表3】主な収入別 私的保険料 (年平均)

単位(円)	生命保険	損害保険	個人年金	合計
全体 (N=724)	322,810	76,784	107,701	507,295
給与世帯 (N=562)	358,429	74,241	129,259	561,929
年金世帯 (N=136)	135,769	79,984	16,784	232,537

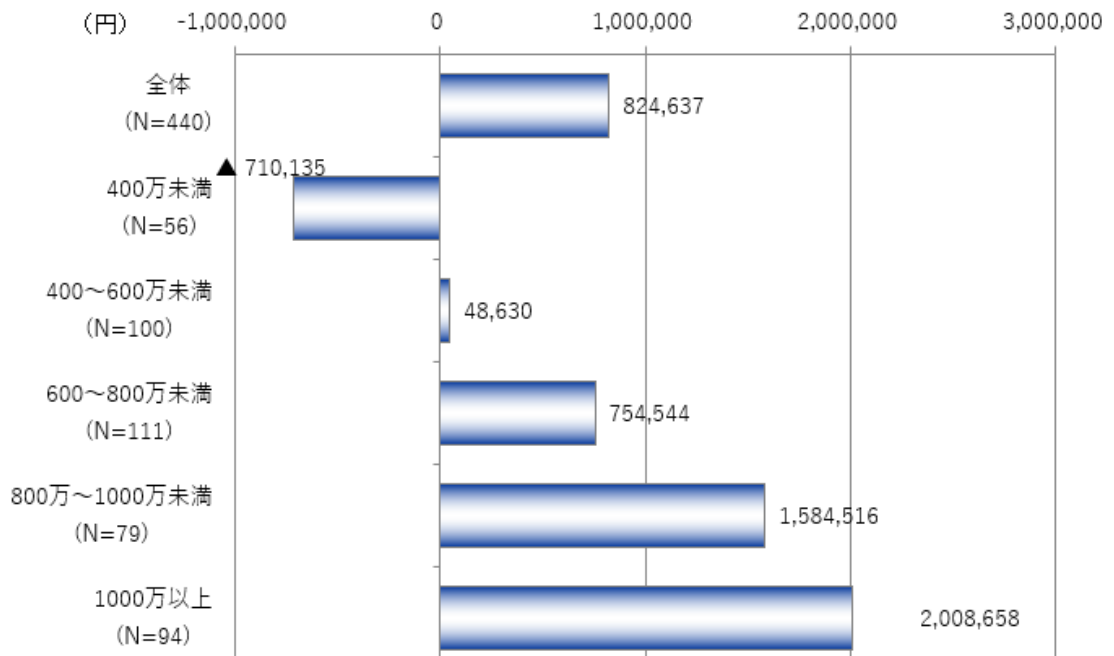
③収支

給与世帯における年間収支平均について、年収別に2020年（図15）と比較しました。全体では、824,637円の黒字で（図16）、昨年より約53,410円高い結果となりました。年収別に見ると、400万円未満世帯では前年同様赤字である一方（▲710,135円）、400～600万未満世帯は黒字に転じました。そのことで400万円以上の世帯はいずれも黒字となっています。※不動産関連の大きな収入の影響を避けるため、「その他収入」を除きます。

【図15】 2020年 年間別 年間収支（給与世帯）



【図16】 2021年 年間別 年間収支（給与世帯）

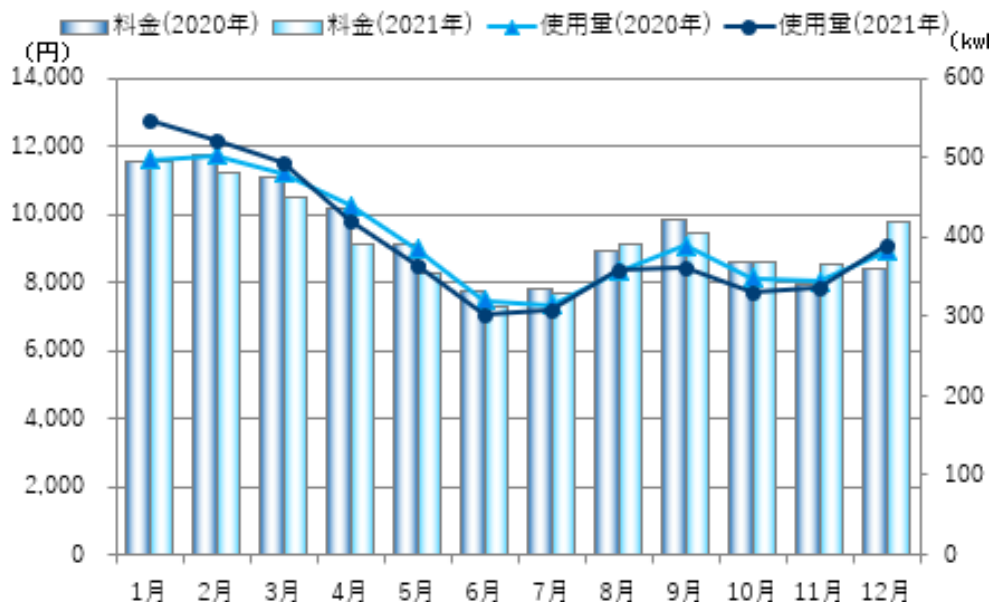


3. 電気・ガスの使用量と料金

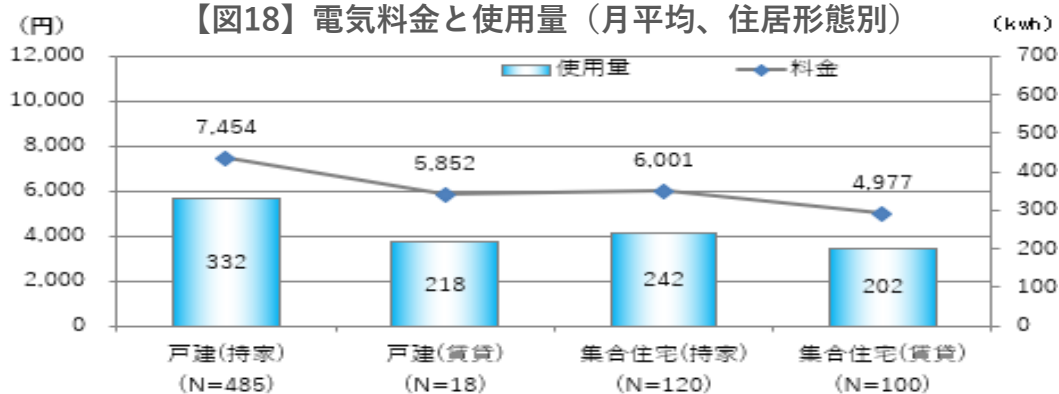
①電気

電気料金、使用量を2020年と比較しました(図17)。前年と大差はないものの、2021年1月から3月の電気使用量がわずかに昨年を上回っています。他の月は昨年と同量または下回っています。11~12月にかけて、使用量が大きく変わっていないものの電気料金が上昇しています。これは同時期の輸入燃料価格高騰に伴う電気料金値上げが影響している可能性があります。

【図17】電気料金と使用量(平均、月別の推移)



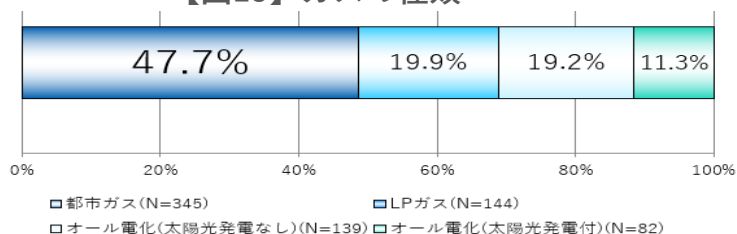
【図18】電気料金と使用量(月平均、住居形態別)



②ガス

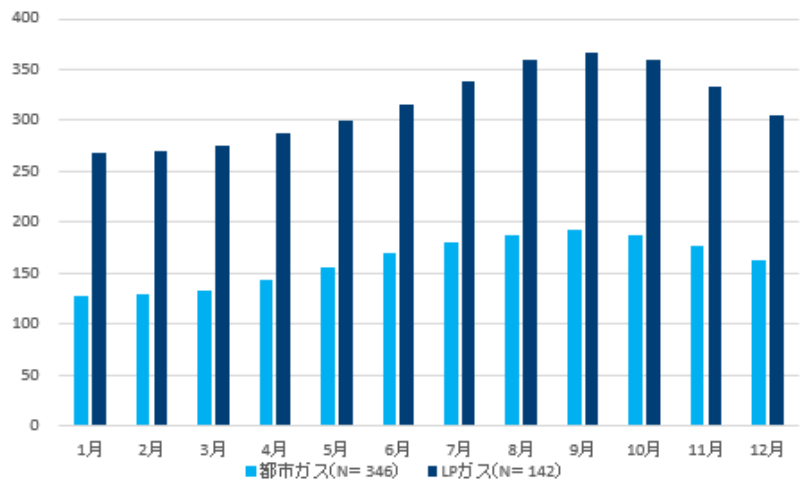
使用しているガスの種類は、都市ガスが47.7%と約半数を占め、LPガス(プロパンガス)が19.9%でした。ガスを使用しないオール電化世帯は30.5%と全体の1/3近くを占め、そのうち太陽光発電付きは11.3%でした。

【図19】ガスの種類



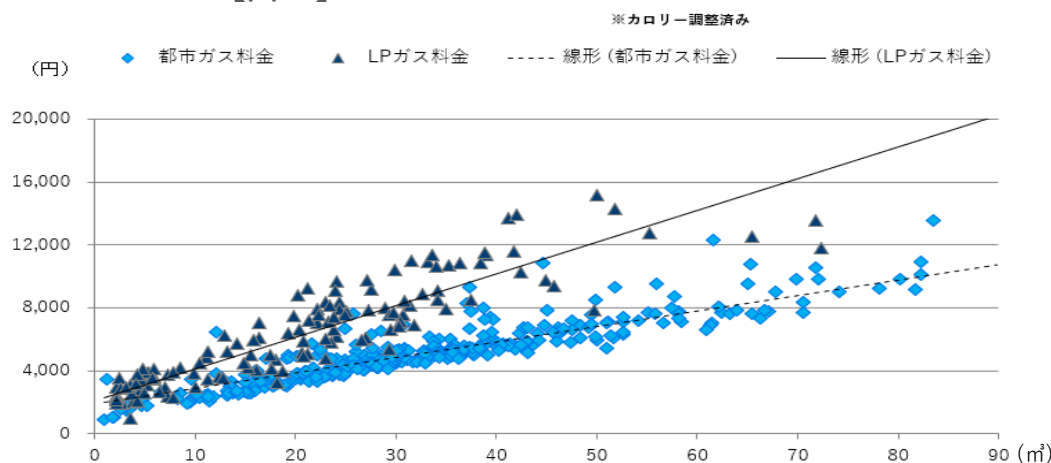
都市ガスとLPガスの1m³あたりの料金を比較しました（図20）。どの月もLPガスが都市ガスより140～173円程度高いことが分かります。月平均では、使用量が同じであっても、都市ガスよりLPガスの方が料金が高く、分布にバラツキがあります。LPガス1m³あたりの料金を地域別に見ると、地域により料金に差がありました。

【図20】都市ガス・LPガス 1m³あたりの料金（平均、月別の推移）



※都市ガスとLPガスはカロリー（熱量）が異なるため（都市ガスが約10,740kcal/m³、LPガスが約24,000kcal/m³）、LPガスの使用量（m³）を2.23倍して比較しています。

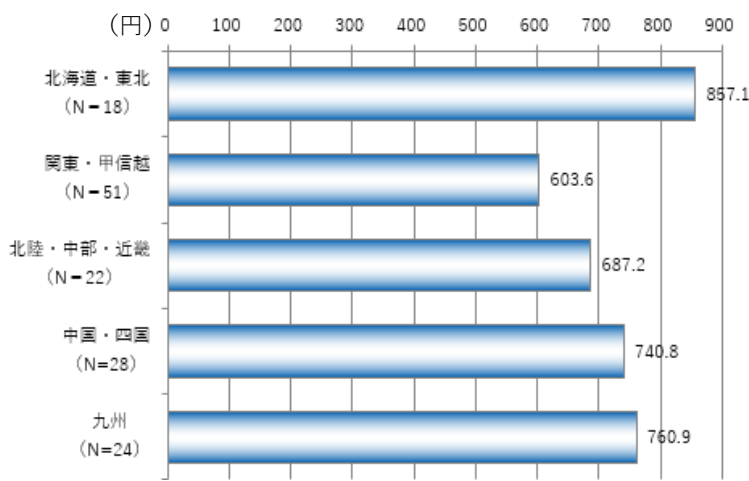
【図21】都市ガスとLPガスの料金比較



【表3】LPガスの料金と使用量（月平均、地域別）

地域	料金(円)	使用料(m ³)
北海道・東北 (N=18)	4,980	5.8
関東・甲信越 (N=51)	7,350	12.2
北陸・中部・近畿 (N=22)	6,331	9.2
中国・四国 (N=28)	5,585	7.5
九州 (N=24)	5,754	7.6

【図22】LPガス 1 m³あたりの料金（月平均・地域別）



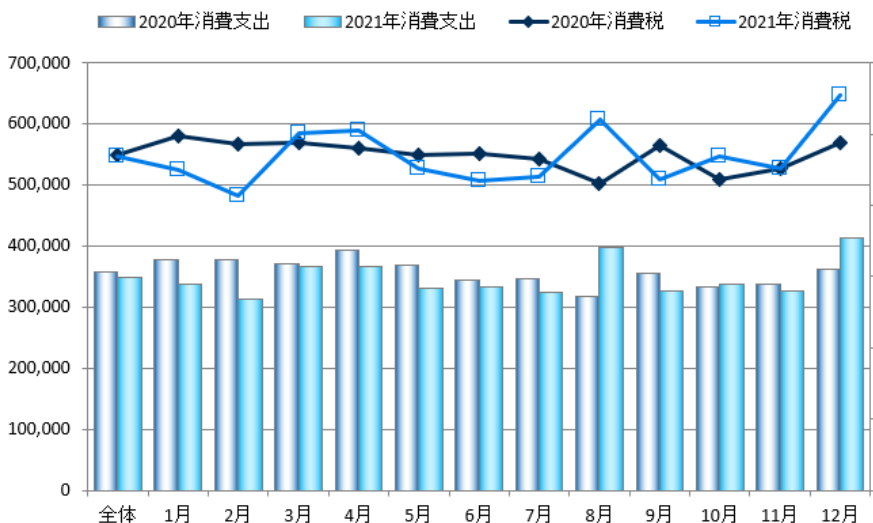
4. 消費税しらべ

【「消費税しらべ」の概要】

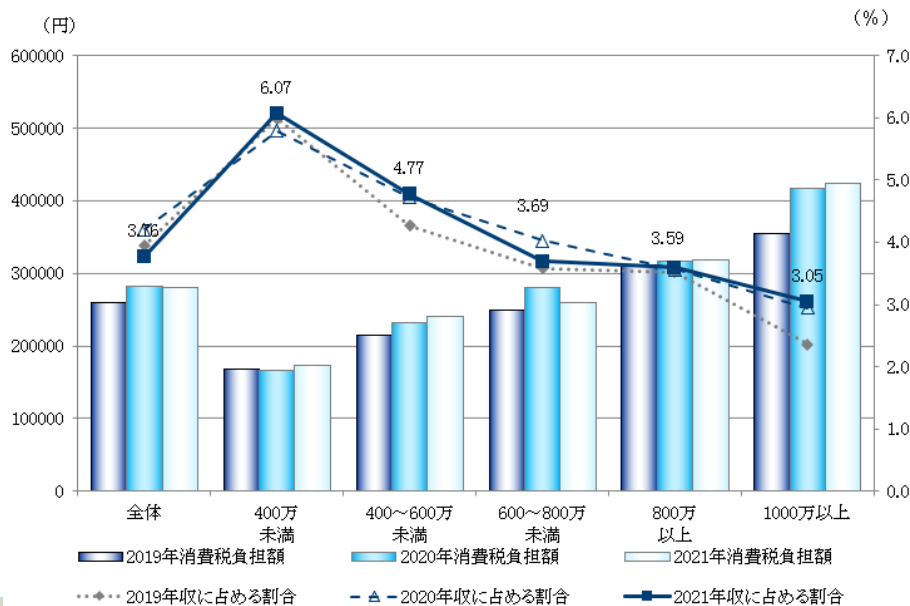
「家計・くらしの調査」と並行して「消費税しらべ」を実施しました。本調査は「家計・くらしの調査」の参加モニターを対象に、消費支出に占める消費税の金額を毎月提出いただく任意の調査です。2021年は754名の方にご協力いただき、有効回答549件について集計しました。 ※有効回答数 2019年 593件 / 2020年 533件

1カ月当たりの消費税額は平均23,439円で2020年と比べて微減しました（図23）。消費支出額の合計額は、昨年と比べて9,241円減少しました。月別にみると、8月、10月、12月は昨年よりも増加した一方で、それ以外の月は昨年を下回りました。全体的に節約志向である一方で、10月、12月は緊急事態宣言の期間外であり、10%課税である外食や娯楽等の支出が高まった可能性があります。消費税について年収に占める負担割合を見ると過去2年間の調査と同様、年収が低い世帯ほど負担割合が高く傾向が続いています（図24）。

【図23】月別 消費税負担額・消費支出の比較



【図24】年収別 消費税負担額と収入に占める割合



5. 集計表（総平均）

	30代以下	40代	50代	60代	70代以上
給料（夫）	360,249	383,834	449,521	201,152	23,936
給料（妻）	97,879	125,904	90,287	73,793	22,710
賞与（夫）	85,042	97,274	125,678	25,120	892
賞与（妻）	9,752	13,546	12,743	11,116	8,039
年金（夫）	71	364	4,435	107,137	188,710
年金（妻）	3,667	619	5,513	33,299	80,410
その他の収入	42,706	27,324	94,184	89,154	64,492
収入計	607,913	657,320	779,240	537,750	383,568
所得税（夫）	16,659	20,389	33,506	12,380	2,070
所得税（妻）	3,393	3,148	1,862	1,436	808
住民税（夫）	17,860	19,412	27,511	14,496	4,122
住民税（妻）	3,557	3,851	2,327	2,458	1,706
その他の税金	5,203	6,723	10,021	10,982	11,115
税金計	46,673	53,524	75,227	41,751	19,821
健康保険（夫）	20,466	26,154	30,886	21,628	19,205
健康保険（妻）	4,249	6,973	4,289	5,097	7,965
厚生年金（夫）	40,028	40,850	46,684	17,346	562
厚生年金（妻）	8,094	10,542	6,309	5,134	1,357
雇用保険（夫）	1,234	1,272	1,679	533	37
雇用保険（妻）	222	325	211	188	53
国民年金（夫）	71	709	724	45	283
国民年金（妻）	197	302	866	1,631	544
国民年金（子）	0	966	2,822	1,848	419
社会保険料計	74,561	88,093	94,470	53,451	30,426
生命保険	31,937	32,577	28,210	23,555	11,136
損害保険	5,791	5,267	6,008	8,202	6,848
個人年金ほか	11,608	10,747	11,511	5,515	2,570
私的保険料計	49,335	48,591	45,729	37,272	20,554
食費	58,186	64,016	66,430	64,054	65,592
外食費	8,685	7,884	6,897	6,283	3,875
住居費	72,851	62,520	75,964	43,191	36,454
水・光熱費	17,489	19,273	18,841	17,995	17,127
保険医療費	9,555	10,337	11,107	15,369	12,268
通信費	14,658	18,184	19,771	18,362	14,783
教育費	32,339	68,342	58,517	16,039	2,884
その他の消費支出	111,560	107,559	148,799	130,563	102,558
消費支出計	325,323	358,116	406,325	311,857	255,541

6. 2021年に寄せられた特徴的なコメント

2021年はウィズコロナ2年目となりました。2020年に引き続き4月には3度目の緊急事態宣言があり、その後も継続する外出自粛・営業自粛の影響を受け、「家計・くらしの調査」モニターの皆さんの生活にも影響・変化があったことが、記入いただいたコメントから読み取れます。

1. コメント全体の傾向

皆さんからは、1年間でのべ2,784件のコメントをいただきました。記入いただいたコメントに登場した単語（名詞）の出現回数ランキング・トップ30は次のようになりました。

No	言葉	出現回数	No	言葉	出現回数
1	出費・費用・料金・消費	743	16	入学・授業・学費	241
2	子ども(娘・息子)	695	17	支払い	239
3	食費・外食	594	18	旅行・外出・帰省	239
4	コロナ・感染・ワクチン	471	19	家・住居・住宅	228
5	購入・買い物・交際	454	20	仕事・会社・退職	197
6	電気・光熱・ガス・エアコン	450	21	家族・母	194
7	夫・主人・夫婦	417	22	教育・塾	187
8	生活・家計	413	23	孫・誕生	162
9	支出・ローン	385	24	夏休み・お正月・年末年始	145
10	所得・収入・ボーナス・貯金・資産	369	25	お金	128
11	自動車・車検・ガソリン	357	26	年金	125
12	医療・入院・治療・病院	340	27	節約	109
13	保険	318	28	健康	84
14	税・税金	285	29	通信	76
15	学校・高校・大学・受験	263	30	自粛	55

合計 8963

出現した言葉を下図のように6つに色分けしました。太枠で囲んでいる桃色と水色は「支出表現」と「支出対象」を表しており、出現回数が最多でした。一方、オレンジ色の収入関連は約500件（回）でした。次に、赤い太字は「トピック」的な言葉であり、例えばコロナ、家族（夫・母・子ども・孫）、仕事、夏休み、等に関する言葉が約1,700件（回）寄せられました。またコロナの自粛にともなう節約や自粛といった「行動・態度」に関わる言葉も挙げられました。

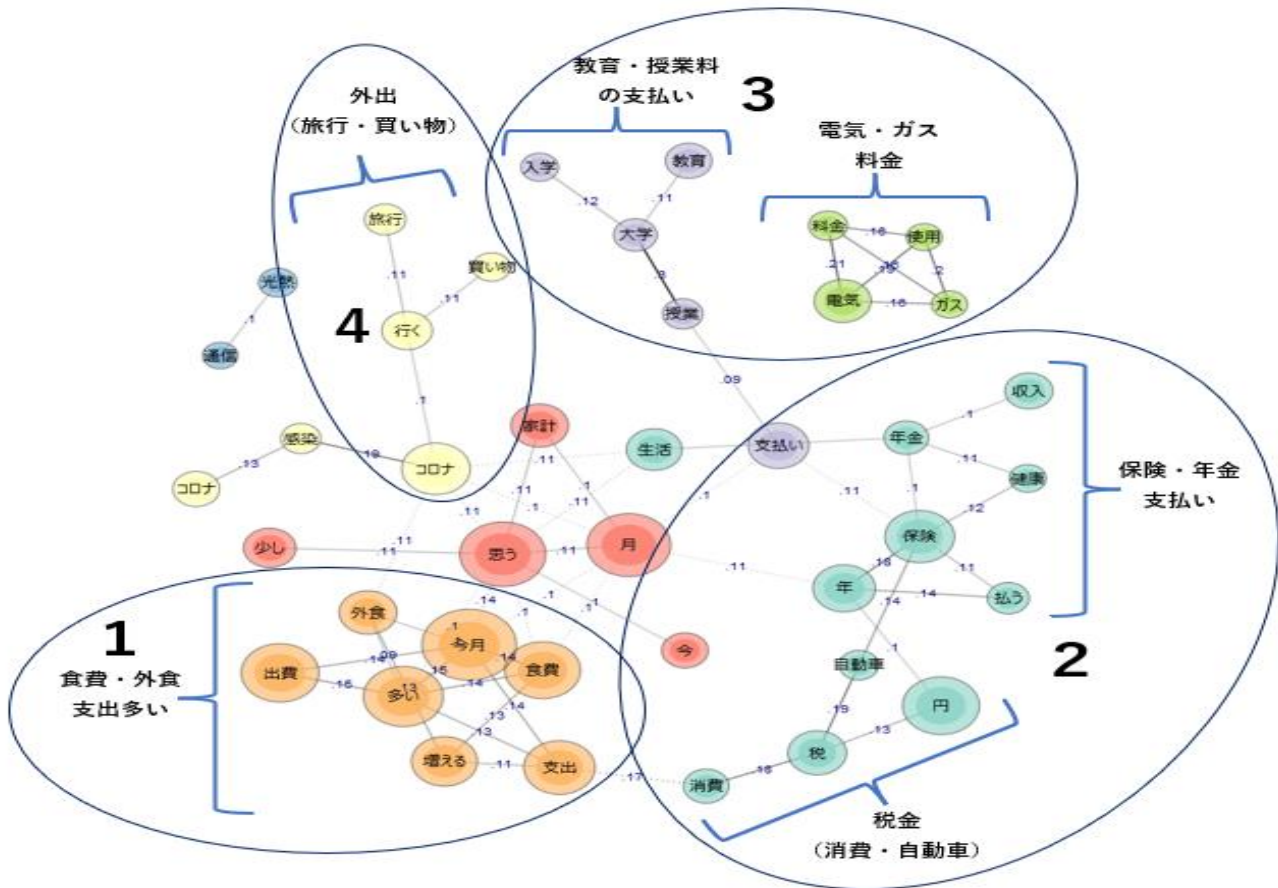
支出対象	3679
支出表現	2415
トピック	1670
その他（お金・生活家計）	541
収入関連	494
行動・態度	164

合計 8963

※分析には、テキストマイニングツール「KH-Coder」を使用しています。

2.言葉のまとまりについて

1つひとつの言葉が書かれた円の大きさは出現回数です。大きい（小さい）ほど出現回数が多い（少ない）ことを表しています。円と円をつなぐ線はコメントの中で共に出現する割合の高さを表しています。濃い実線であるほどに割合が高いことを意味します。円の色は強い結びつきがある（共によく出現する）円ごとに色分けされています。量的な視点では、「食費・外食の支出の多さ」について（1 = オレンジ色グループ）、「税金・保険・年金の支払い」について（2 = エメラルドグリーン色グループ）、が多いことが読み取れます。その他、「教育・授業料・電気・ガス料金の支払い」について（3 = 紫および緑グループ）、「外出（旅行・買い物）」について（4 = 主に黄色グループ）、という計4つのまとまりがあります。後述にて、4つのまとまりごとの具体的な声を見てみます。



(1) 食費・外食の支出について

外食を抑えたことで、内食・中食の支出が増えたコメントが多い傾向にあります。ストレスが増えた言及がある一方で、ご家族の誕生日で食事を豪華にする、テイクアウトやお取り寄せの利用、ポイント利用やまとめ買いによる割引利用、等の生活の工夫が見られました。

食費が大台超えてショックです。2月は控えないと!外食と交通費がガクッと減りました。巣ごもりしてるからですね。

活動量が減り、食費・酒代・体重が増えてきました。家計的には外食や教養娯楽費が減ってきて、いびつなものになっています。自分らしく生活するというを、もう1度考え直してみます。

今月の食費にびっくりしました。外食費も他の月より多かったけど、普通の食費に使った金額が、いつもの1.5倍くらいに増えていました。圧倒的にし好品が多いけど、その他の食品も同じくらい多くて、コロナ禍での自粛疲れで食い気に走ったのかなとか、ストレスが溜まってやっぱり食い気に走ったのかなとか、いずれにしても今月は節約意識がやや足りなかったみたいで反省です。光熱費は逆に減っていて、暖かくなってきたおかげでエアコンの節約はできたのかなと…。来月は食費を意識して減らしていきたいです。

(1) 食費・外食の支出について ※前頁からの続き

外食をしなくなったが、家で少しストレス発散でお菓子などを購入することが増え、食費がかさんだ。

電気代の請求は支払い方法を変更したため今月は計上なし。水道料金2か月分だけになっています。年末年始で食費が高騰してしまいました。黒字ではありますが、厳しい収支になってしまいました。コロナでお正月は親戚一同に集まるできませんでした。お年玉はpay payで親から親へ。キャッシュレスの時代だな〜と実感しました。

今月はポイントを利用して外食費がかからなかったのがよかったです。化粧品をまとめて購入したので支出がありました。

食費や外食費が多かった。自粛の緩みで自炊の際も普段あまり買わないような高めの食材や少し値引きしてある食材をたくさん買ってしまった。

今月は緊急事態宣言が発出されたこともあり外食が減り、テイクアウトを利用する頻度が多かったです。家に籠っているとストレスが溜まり間食が増えて食費が増加してしまいました。ただ、化粧品や洋服など外出関係の出費が抑えられたので家計的にはバランスが取れたような気がします

外出ができないので、お取り寄せなどをして、ストレス発散で、食費が高くなっている。

子ども、主人の誕生日があり食事を豪華にしたり、習い事の試合の回数が多く外出先での買い物（食べ物）が多く食費が上がった。塾の春期講習の引き落としがあった。

今月は夫婦2人の誕生日があったので少し豪華なデリバリーをしたため外食費が少しかさみました。ただ、それ以外の日は緊急事態宣言の発出のため外出を自粛していたので出費が抑えられました。全体的にはバランスの取れた家計でした。

(2) 税金・保険・年金の支払いについて

災害への備えや自動車維持のための保険・税など、負担の大きさを挙げる声が多いです。そのような中で、健康維持や節約、保険の見直しなど、様々な工夫をされています。

保険の負担が大きい。でも災害のニュースを見るたびに、もっと保険をあつくすべきだとも思うし・・・。

ただでさえコロナで疲弊しているのに、大雨で家に雨漏り被害が出た上に火災保険も効かないらしく、どうしようかと気疲れの日々・・・免疫力もだだ下がりで。

主人が退職したので健康保険、厚生年金が2倍になり2年間健康保険に加入出来る事になったので、9ヶ月分前納になったので社会保険料が上がっている。

今月は固定資産税と自動車税を納付しました。今はこの税金が負担になっています。昨年は大した収入がなく今年は住民税の納付があるのかなのか 国民健康保険料はいくらなのかドキドキな状況です。

保険の見直しをしました。終身保険の払い込みが12月までであるので、その月まで少し金額が増えてしまいますが以後は元の金額に近い額になります。

今年度より介護保険が、改定になり保険料が多くなりました。年金額の少ないものにとってはつらいです。

今月は、学資保険の年間一括払いがあったため、大きな支出がありました。少しずつ、節約を心掛けていきたいと思っています。

年金の支給月は保険等の支払いもあるため出費が増え何に使ったのかなと思ってしまう。国民健康保険等しかたがないと思う一方夫婦のどちらかが介護施設に入所となるとかなりの負担で年金だけでは生活が成り立たないと思う。少しでも長く家で生活できるように体の衰えを最小限にしたいなあと思えない希望を描いている。

自家用車の任意保険と自動車税の支払い月であったので、またもや多額の出費。必要な経費が毎月のように出ていく。仕方ないとは言え、ゆとりのない家計だとつくづく思う。

(3) 教育・授業料・電気・ガスの支払いについて

子育てに関わる支出では、学校の制服や機の準備等の一時的な支出に加え、塾や習い事等の継続的にかかる支出に触れる声が複数見られました。またコロナ禍で自宅で過ごす時間が多くなったことと猛暑の関係でエアコンの電気代が増加した様子も見取れます。

長子が中学生になるにあたり、制服が想定より高額だったこと、ウィンタースポーツの習い事により、教育費が増大しました。

勉強機の購入、子ども部屋の模様替え、修学旅行等2月・3月と出費が増えます。来年はいよいよ大学受験、子育てでは本当にお金がかかります…

大学の授業料の減免が11万ほどありました。

コロナ禍で子ども達、旦那も自宅にいて冷房全開だったので電気代が2倍増えました。また子どもの視力が悪いのが発覚し、眼鏡を2人分購入することに。学校に行かない分、子どもたちの習い事を増やしました。…出費がかなり大きくてびっくりです。赤字です。…家計も、仕事も無理はしないようにします。

猛暑日が続く、エアコンなどの利用が増え電気代が増えました。まだコロナ感染拡大のため、外食などは控えました。

ガソリンの高値が続いているようですね。自宅暖房は都市ガスメインなので、直接的な影響はありませんが、光熱費は春先まで高くなります。北海道は暖房費高騰は死活問題なので、早く安く戻って欲しいです。

家の湿度が高く、エアコン及び浴室乾燥機を毎日使用しているので電気代が昨年よりかかっているなあ、と思いました。

在宅リモートが多くなったので、電気代が増えた…

今月はお天気が悪く、エアコンのドライ機能を使い昼間部屋干しをしていたら、電気代が驚愕な結果に。月の終わり頃、同じ部屋干しなら夜間電力帯に干せばいいことに気づき、夜間電力帯(23時)から洗濯を始め干して寝るようにしました。

年末年始と人数が増えた上に、例年よりも寒かったせいもありエアコンの使用が増え、電気代も高くなってしまったので、誰もいない日は陽の当たる部屋で光熱費を抑えるように努力。電気会社を変えていなかったため「夜間に割引のあるタイプが変更なかった」ため3分の1の電気料金で済ませる事ができました。この時間帯に洗濯や掃除機の充電、つい夜更かししているようですが、なんとかやっています

(4) 外出について(旅行・買い物等)

国内旅行・帰省された方がいらっしゃる一方で、自粛されている方はスポーツジムで汗を流す、または、ホテル内で過ごされたり、と工夫されているようです。

外出は仕事への往復のみで買い物、コンビニもいけません。こんな不自由なことが現在たくさんの方に起こっています。

買い物に行く回数を減らして、冷蔵庫や冷凍庫にある食材を使い切って過ごしたおかげです。寒さも厳しく、できるだけ外出したくない事もあって一石二鳥以上の成果となりました。

近郊に泊まり旅行に行ったので出費が多いです。また、休日のランチで中食費が多かったと思います。電気代が去年より上がっていて、冬は暖房で高くつくので痛い出費です。。。

旅行や外出が出来ない昨今、スポーツジムで、体を動かして、ストレス発散しています。

県内でクラスターが発生し、外出が心配でいつもに増してあまり出かけなかった。運動不足なので、電動のブルブルマシンを買って、毎日せつせと乗っています。

コロナの収束もみえずマスク生活が続く毎日です。何か楽しみをと、神戸のホテルに1泊してきました。それだけで旅行気分になりました。が、体力が落ちたと実感した。こんな調子だとコロナ終息後、旅行に行けるだろうかと不安。体力アップに励み、また旅行を楽しみたい。

自粛生活で、旅行をしなくなったので、経済的には余裕ができたが、精神的には、余裕が無い

その他、2021年モニターさんから届いた声

資源・リサイクル

- ・この二ヶ月で、粗大ゴミを捨てるのに一万円ほどかかりました。三十年近い生活で初めてのことなので少ない方かも知れませんが、改めて買った物への責任を持つと思いました。
- ・母の介護のために、片づけをしながら静岡県の実家にいます。資源物の回収に『プラスチックなし』のプラスチックがあるので利用している。製品がプラスチックのものは問題なく出せるが、金属や紙と一緒にしているものの解体が大変です。ペンチを使い力づくでハンガーを壊しました。濡れないようにプラスチックでカバーされた古い料理本のセットははさみとペンチと力で解体し、紙はトイレットペーパーに交換しました。本気でリサイクルを考えるのなら、使い終わった後分別しやすいよう、製品を作る段階から考えてほしい。

介護

- ・寝たきり介護…そして看取りかと構えたが、呼吸が止まる様になり救急車で運ばれて2ヶ月経った。大腿骨骨折で同居し介護者生活10年。今、正直、楽。夜中に起こされる事もなくぐっすり眠れるし…デイサービス帰宅時間気をする必要も無い…。こんな事思うのも、今鼻からチューブという状態でも生きていてくれているからだろう…けど…死生命あり。静かに受け止めようと思う。
- ・昨年より両親の介護が始まり、入退院を繰り返しているため、お金に羽がはえているのかと思う位、出ていきます。ただコロナ禍の中、高齢の両親の治療に携わって頂いている医療関係者の方には本当に感謝しかありません。お金で済む事はまだマシと思うようになりました。

子育て

- ・産後で頼れる人がいなかったため、初めて市のサポート支援を利用しました。子供の送迎でお金はかかりましたがとても助かりました。
- ・保育料が上がって1人5万も…。低所得者や母子家庭の手立てはあっても並の二馬力は助けて貰えない感じ辛い…

医療費

- ・夫に大きな病が見つかり検査漬の日々でしたが高齢者の医療費負担2割と高額療養費制度のお陰で医療費負担が少なく有り難かったです
- ・長期入院から退院出来たのは良かったのですが…請求の関係で入院費2ヶ月分と入院前の前病院の検査費用の請求が重なって医療費が大変高額になってしまいました。高額療養費制度がなかったらどうなっていたかとおそろしくなりました。

教育

- ・子どもが中学生に上がります。制服など買いました。我が家は公立という選択だったのですが、私立だともっとお金もかかるのか…家庭の収入で、私学にいけなかったり、塾に行けなかったりと…格差が広がるなあとしんみり思っていました。
- ・大学入学での費用。入学金、授業料など、それに伴い入学式で着るスーツ、机と椅子、パソコンの合計が962804円になった。娘が公立高校に合格しました！制服、ジャージ、上靴、入学金、高校からの塾代、教科書代、iPhone代、通学定期代もろもろのものすごい金額がかかりました。これが私立高校だったらと考えると恐ろしいです。頑張りました。
- ・教育費がかなり高くなってる。行けるかわからない修学旅行費の集金6.6万、教科書代で2.6万など。オンラインの仕事で必要なPCの買い替えで、10.5万支出。会社からの補助は無い。
- ・2人目の子が小学校に入学しました。習い事も増え、教育費が初めて6万円台に突入。子どものための投資は惜しみなく、笑顔で出してやりたいと思いますが「休みたい」などと言われると、つい「いくらかかっていると思ってるんねん！」と怒りたくなってしまいます。

投資

- ・つみたてNISAを始めました。月々33333円を積立せていき、毎日価値が変わるので資産チェックが楽しみです。マイナスになることもありますが20年後に期待しています。

夏休み

- ・夏休みでみんな家にいましたが、食費が普段より低くなりました。給食や弁当を注文するより、家で作ったほうが安いということですね。でも、家で作ると似通ったものばかりになるので、好き嫌いの激しい子どもの栄養状態が悪くなります。給食だと嫌いなものも食べるそうで、多少値段は高くても、本当にありがたいです。
- ・4月に大学に進学し一人暮らしを始めた長女。二ヶ月もある長い夏休みはサークルもろくにできず、かといって遊びに行くこともできずマンションに1人でいても寂しい、と丸々二ヶ月帰ってきました。家賃は払いますが仕送りが要りませんでした。そのかわり食費が増えました。

光熱費

- ・コロナ自粛で外食費がかからなかったが、自炊と子供の冬休みがあり光熱費が今までで一番高かった
- ・太陽光発電の契約が10年経ち 今月から売価が6分の1になりました(涙) お天気がいいと”儲かってる〜”と思っていましたがこれからは…。光熱費と買い取り価格を計算するとまだペイできてない状態です。パネルが故障せず1日も長く発電してくれる事を願うばかりです。
- ・一年間でガス会社2社、電気会社3社にお世話になりました。割引の契約をした事で、昨年に比べてガス、電気ともに10000円以上安くなりました。ガス使用量は変わりませんでした。電気使用量は20%も減りました。

通信

- ・夫と一緒に格安スマホに変えました。どうしても電話連絡などで、通信費がかさむことがあったのですが1ギガと1回60分の話し放題でふたりで¥5456です。ヤッター!!の感じです。移し替えも頑張って二人分しました。知らなかったこともいっぱい面白かったです。やればできました。夫にスマホの使い方を教えるほうがしんどいです。ひと月経ってもまだ「なんでやねん・・・」が出ます。

買い物

- ・子供の習い事のために電子ピアノを購入しました。25万円の大きな支出でした。子供がすぐに辞めてしまったら私がたくさん弾きます。
- ・子どもの歯科矯正を始めることにしました。44万円です。コロナ禍で家族だけで広めの公園に出かける機会が増えたのでテント用品を購入しました。これから寒くなるので使うのは少し先になりますが、来年の楽しみができました。

オリンピック

- ・オリンピックが無事開催された。結構楽しく観戦している。コロナ禍に開催されたこと何とか最後まで開催できたことは新しい生活様式の中のオリンピックやスポーツ観戦の位置づけとして未来への経験となった部分もある。何が何でも反対意見ばかりが強調されて、安全に過ごすとか密にならないように生活できているのか、コロナ感染起こさないよう行動できているのか、これ以上感染者が増えないことを祈りたい。
- ・今年は暑いといわれていたが、やはり大変な暑さだ、五輪の選手たちの頑張りに頭が下がるが、IOC委員会などの考え方についてはいけない。コロナも猛烈な勢いで増えており、ワクチン注射による副作用がまたやたら多いので、若者も躊躇する気持ちはよくわかる。五輪後の日本、だれが責任とれるのだろうか？
- ・コロナで始まりコロナで終わる1年が経った。一番の思い出はオリンピック2020のチケットが当たっていたのに行けなくて家でユニフォーム着て応援したこと。オリンピックは開催できてほんとに良かった。スポーツや芸術は精神修養になる。おひとりさまで行動することが当たり前になったので一人行動が目立たなくなった。以前はレストランや居酒屋などに一人で入るといつもお1人様ですかと隅っこに追いやられていたのに今は堂々と4人掛けに一人でも案内される。ただgo to eatキャンペーンが終わってからは外食をあまりしてない…いやいや結構外食してるかも。

7. 調査票

家計・くらしの調査 ◆ 12月分 ◆

こちらは「家計・くらしの調査」の調査票のページです。
費目をご入力の上、「確認画面へ」ボタンを押してください。

入力の締め切りは1月20日です。

※収入・支出が発生しなかった費目については「0」をご入力ください。

※*は必須項目です。

※入力に困った時は「家計・くらしの調査」手引き、または費目検索をご参照ください！

[○「家計・くらしの調査」手引き ←こちらをクリック](#)

[○「家計・くらしの調査」費目検索 ←こちらをクリック](#)

[○「家計・くらしの調査」生計費調査との比較対照表 ←こちらをクリック](#)

収入		
給料	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
貸与	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
年金（公的・私的）	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
その他の収入*		<input type="text"/> 円
収入計		0円

税金（直接税）		
所得税	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
住民税	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
その他の税金*		<input type="text"/> 円
税金（直接税）計		0円

社会保険料		
健康保険 ※介護保険も含む	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
厚生年金	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
雇用保険	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
国民年金	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
	子*	<input type="text"/> 円
社会保険料計		0円

私的保険料	
生命保険* ※定期保険、養老保険、終身保険、 医療保険、がん保険、学費保険など	<input type="text"/> 円
損害保険* ※CO・OP火災共済、火災保険、 自動車保険、旅行保険など	<input type="text"/> 円
個人年金ほか*	<input type="text"/> 円
私的保険料計	0円

消費支出	
食費* ※外食を除く、中食を含む	<input type="text"/> 円
外食費*	<input type="text"/> 円
住居費*	<input type="text"/> 円
水・光熱費*	<input type="text"/> 円
保健医療費*	<input type="text"/> 円
通信費*	<input type="text"/> 円
教育費*	<input type="text"/> 円
その他の消費支出*	<input type="text"/> 円
消費支出計	0円

◆ 上記の「水・光熱費」のうち、電気とガスについて詳しく教えてください。

電気・ガス		
電気 ※使用量について、 小数点以下は四捨五入し 整数でご回答ください	料金*	<input type="text"/> 円
	使用量*	<input type="text"/> kwh
ガス ※ガスを使用していない方は 「0」とご入力ください ※使用量について、 小数点以下は四捨五入し 整数でご回答ください	料金*	<input type="text"/> 円
	使用量*	<input type="text"/> m ³

◆ 1つの項目で100万円を超える大きな支出があった場合は
「今月の家計についてひとこと」欄にその用途を具体的に記入願います。

今月の家計についてひとこと
<div style="border: 1px solid gray; height: 50px;"></div>

消費税しらべ（任意回答）	
◆ こちらは「家計・くらしの調査」とは別の調査で、任意回答です。	
◆ 以下の方法で金額を算出し、「消費税額」の欄に記入してください。	
・消費支出から消費税が課税/非課税となる支出で分ける	
・消費税がかかる品目から、軽減税率対象の品目(A)と、非対象の品目(B)に分けて支出金額を集計	
・(Aの支出金額合計 ÷ 108) × 8 = Aの消費税額	
・(Bの支出金額合計 ÷ 110) × 10 = Bの消費税額	
・Aの消費税額 + Bの消費税額 = 消費税額	
※小数点は入力できないため、四捨五入して整数でご回答ください。	
※詳細は「手引き」の16ページを参照ください。	
◆ 「消費税しらべ」に12か月連続でご協力いただいた方には、別途500円の図書カードをプレゼントいたします。	
消費税額	<input type="text"/> 円

確認画面へ